
IS シューティングスターを使いし者

メテオ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS シューティングスターを使いし者

【Nコード】

N0945W

【作者名】

メテオ

【あらすじ】

初めての作品なので、分からないところもありますが、宜しくお願ひします^^

プロローグ

何もない白い空間に僕はいた

「ここは……天国か？それとも地獄なのか？」

「お目覚めのようですね、ここは転生の間です。」

そう言いながら一瞬空間が歪んだかと思うととても美人な人が出てきた

「申し訳ございません」

「私の手違いで貴方を死なせてしまいました。申し訳ございません」

「いいですよ、僕はあの世界に未練なんて有りませんし、それに貴方だってわざとやったわけではないのでしょうか。でしたら、怒りも何も有りません。あ、お名前をお聞きしてもよろしいでしょうか？」

「あ、申し送れました、戦神、フレイヤと申します」

「フレイヤ様ですか、とてもきれいな名前ですね」

「あ、ありがとうございます」そう言つて一瞬顔が赤くなる

「あ、そうそう、手違いで殺してしまつたお詫びとして、転生をして差し上げないといけないのですが、どうします？」

「はい、転生させてください」

「分かりました。じゃあどの世界でどんな能力が欲しいか教えてください。能力とアイテムは10個以内です」

30分後

「決まりました。IS インフィニットストラトスの世界で、能力は

・ISで機動戦士ガンダムSEED DESTINYのストライク

フリーダム

・乗り物（IS含む）の操縦技術

- ・ 身体能力の強化、それも世界で一位ぐらいの
- ・ 頭をととも良くする（頭脳チートぐらいまで）
- ・ 男として生まれる
- ・ ISにAIをつける
- ・ 年齢を15歳で原作開始の1ヶ月前にする
この7つです」
- 「えっこれだけでいいのですか？」
- 「ええ、あまりに多すぎてもあれですし」
- 「分かりました。では、もう行きますか？」
- 「はい、お願いします」
- 「では、いきます」

人間には理解不能な言葉を発し、僕の体が光に包まれる
そして気がつく・・・」

オリキャラ&オリIS設定（ヒロインも！?）

主人公

名前 キラ ヤマト

年齢 入学当時15歳

性別 男

身長 183CM

体重 60?

容姿 ガンダムSEEDのキラ ヤマトそのもの

趣味 機械いじり

特技 武道全般、射撃、完全記憶、ハッキング

好きな人 なし（途中から○○）

専用機 ストライクフリーダム

特殊武装 シューティングスター（二連続瞬時加速を使い、急激に上昇し、再び二連続瞬時加速で急降下してキック・・・じゃなくて剣で切る）

性能と装備

ストライクフリーダムそのもの+α

αはスーパードグラインを+90個（後付武装）、全体性能50%UP等等

他は今度進展があつたときにここで公開します

ヒロインはまだ教えません（キリッ

ついでにオリキャラはオリ主以外いません

ハーレム？ナニソレオイシイモノ？

どうでもいい情報

ここ（IS学園）で売られている飲み物は

・きなこ練乳

・超健康補助飲料 ガラナ青汁

・決闘牧場特産 カツサンドドリンク

・凝縮栄養飲料 SURVIVAL+1

・手作り風 冷たい おしるこ「粒入り」

・いちごおでん

・黒豆サイダー

・ヤシのみサイダー

・熊のスープカレー

などといった実験品みたいなのも販売しています

（え？某学園都市のネタじゃないかって？おしえないよw

第1話（前書き）

毎回駄文で申し訳ございません

千冬とは、転生する前に面識があったという設定です

第1話

「うつ・・・ここはどこだ？・・・僕の部屋か」

「目が覚めましたか？」

「お前は誰だ？」

「おっと、紹介を忘れていた。サポート用AIのラクス・クラインです」

「ラクスか、よろしく」

「よろしくおねがいします」

「ISを動かせる場所ってどこか近くにある？」

「ありますが、IS学園への入学は明日ですので、準備をして、先に生活必需品を送っておいたらどうです？」

「そうだね、多分寮生活になると思うし。ありがとうラクス」
「どういたしまして」

中略 荷造り中

40分後

「ふう～終わった」

「お疲れ様です。キラ」

ちなみに、このラクス、映像だが、実際に歩く（行動する）こともできる

何気に凄い

ちなみに500年ほど後の技術だそうだ

試合開始と同時に二連続瞬時加速

そして、零落白夜の強化版・・・もといビームソードを使って弾き飛ばす

織斑千冬 残りシールドエネルギー 300

キラ ヤマト シールドエネルギー 150

「フリーダムハイマツトフルバースト」

その瞬間、フリーダムの全砲門からビームが噴射。織斑千冬のシールドエネルギーを0にした

『打鉄、シールドエネルギー エンプティー 勝者 キラ・ヤマト』

「ふっ流石だな」

「ありがとうございます。織斑先生」

「あ、そうそう荷物だが、さっき届いたみたいだから先に部屋へ運んでおいたぞ」

「ありがとうございます」

「あ、それとこれが、部屋の鍵だ。私の弟の一夏と同じ部屋にしてある。同じ男同士の方がいいだろう」

「そういいながら、鍵をキラに渡す」

「ありがとうございます。じゃあ部屋に戻ります」

「あ、そうそう。私が1年の寮長だからな。遅くまでおきているとお構いなしに突入するから気をつけておけ」

「はい。わかりました」怖い怖い

第1話（後書き）

中途半端なところで終わってすみません
後、もう1ヶ月たったということですからw
かなり強引にきめましたw

後、ここで会話？見たいのを気まぐれでw書いていくので宜しく
お願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0945w/>

IS シューティングスターを使いし者

2011年10月9日14時19分発行